

正規教員を増員し、多忙化・長時間過密労働を解消せよ！ =組合=

「教員不足を解消したい」=教育長=



発行所
三豊教育会館内
香教組三豊支部
編集人情宣部
TEL 0875-25-3761
http://www.niji.jp
/ home/kazuo-t
/ mitoyosibu1

パワハラ・困った時の
相談は、香教組・三観
支部へも連絡OK！

【三豊・観音寺市教委に二〇人学級実現など要求】
三豊・観音寺の教育をよくする会（澁谷光博会長）は署名に協力してくれた諸団体の仲間と共に一月二十七日観音寺市の十河聖司教育長、二月三日三豊市の大原一仁教育長に少人数学級拡大などを要求しました。



要求を聞き取る十河聖司教育長



要求書を渡す澁谷会長（左）と大原一仁教育長

三豊市教育委員会教育長 大原 一仁 殿
観音寺市教育委員会教育長 十河 聖司 殿

三豊・観音寺の教育をよくする会会長 澁谷光博

ゆきとどいた教育を求める要求書

【要求の趣旨】

長引く物価高騰で貧困と格差拡大がますます広がり、子どもたちの成長・発達、心身に深刻な影響を与えています。私たちは日本国憲法や子どもの権利条約に基づいて、すべての子どもたちに確かな学力と民主的な人格を形成する教育を実現しなければならないと考えています。こうした趣旨の下に「ゆきとどいた教育を求める香川県署名」に取り組み、今年度は三豊・観音寺市で2100筆を越えて集約しました。その活動の中で、三豊・観音寺の教育について以下のような声があがっていました。早急に改善されるよう強く要求します。

【要求事項】

- 1 教職員の過労死を招く変形労働時間制を市で強制しないでください。
- 2 全国学力テストや学習状況調査はやめるよう働きかけてください。
- 3 子どもと直接向き合う正規の教職員を増員し、20人学級を実現するよう国や県に働きかけてください。また、特別支援学級の定員数を改善するよう国や県に働きかけてください。
- 4 教職員の勤務時間を守るよう指導してください。また、教職員の多忙化を解消するために多忙化の原因を分析し、多忙化を解消してください。
- 5 小・中学校の教材費、給食費など学校納付金を無償にしてください。
- 6 小学校の外国語活動、ICT教育について、子どもたちや教師の負担増にならないようにしてください。
- 7 子どもたちに安全でおいしい給食を提供するために、地産地消の推進、そして、安全な食材で、ていねいな調理をしてください。また、大型給食センター建設は、PFIまかせにしないで災害に強いものにしてください。
- 8 小中学校をこれ以上統廃合しないでください。もし、統廃合するようなことが持ち上がった場合、地域住民の意見をしっかりと聞くようにしてください。
- 9 その他 （パワハラ・学校訪問の簡素化・ICカードのデータの公表・不登校）

十河聖司教育長は、「一年単位の変形労働時間制」について、「今のところ導入していないし、来年度導入する予定はない。」と答えた。
よくする会の「過去問題実施や平均点偏重主義にならないように。」の質問に対して、「学校の授業改善に役立てたい。今は丸付けなどの負担は大幅改善されている。」と答えた。
正規教職員増・20人学級実現

学校統廃合で地域が衰退する意見に対しては、「現時点では、統廃合の話は出ていない。学校は地域のものである。」と答えた。
ICT環境にあっては、「導入で学力が上がるのではなく、使い方が大切。子どもに目を向けるのはいいけど、使い方が大切。」と答えた。
給食費無償化について、「条件が整えば無償化に賛成である。7年9月より、学校での集金でなくなる。」と答えた。
高瀬中学校夜間学級兼務について、「未履修を防ぐために、今回は特別的な扱いでやむを得ず行なった。こんなことが常態化することがないようにしたい。」と答えた。

※ 大原一仁教育長は、「一年単位の変形労働時間制」について、「予定はない。強制もしない。」と答えた。
※ 全国学力テスト・学習状況調査などの過去問題をもうやめてはどうか。の意見に「三豊市だけやめるわけにはいかない。採点を学校で委託できる。入力是谁かにしてもらおうと補助金が出る。」と答えた。
※ 高瀬中学校夜間学級兼務について、「未履修を防ぐために、今回は特別的な扱いでやむを得ず行なった。こんなことが常態化することがないようにしたい。」と答えた。



今後もお金のかからない施策は早急な改善をお願いしたい。
教員採用試験「職免」扱いについて、今年度より実現している。この改善については、よくする会からお礼を述べた。

製本ではなく、ホッチキス綴じでよい。59歳以上の人は、指導案を書かなくても良いことにした。」と述べた。
給食費無償化について、「国にも働きかけている。県の動きも見たい。」
ICT環境にあっては、「カラー印刷など、各学校全体に単価の安いオルフィスなどを入れることができればよい。タブレットの破損の場合、児童・生徒は市の保険を使うことができる。」と述べた。

夜間・昼間勤務の適正!?!
○高瀬中学校には、夜間学級（夜間部）が併設されている。全国初の学齢期の子どもも入学できる夜間学級である。併設前に県や三豊市に質問や確認をしたが、昼間部の学校（普通の学校）と夜間部の学級（夜間学級）は別物（別々に区切って考える）なので、採用や異動に関しては、本人の希望がなければ配置はない。つまり、希望をしていないのに夜間学級に配置されることはないとコメントしている。今回、三観のある中学校での教員不足を夜間部の先生で補った。県の「小中学校教職員人事異動の基本的な考え方」の中にも、「夜間学級」は、「県立学校」「国立大学法人」と並んで、特別な勤務であると明記されている。今回の配置は、夜間部の先生方を不安にさせるものであり、これから夜間部を希望しようとする先生方の芽を摘んでしまうことになる。夜間部をつぶしてしまわないよう当局は判断を誤ってはならない。
○メタンガス爆発事故、避難計画の未策定、熱中症対策など多くの問題が...大丈夫？

「大阪・関西万博大丈夫？」